

<経済2017年第2四半期>

—4月—

*4月27日、日銀が金融政策決定会合で、景気の基調判断を引き上げて「緩やかな拡大に転じつつある」として、約9年ぶりに「拡大」の表現を盛り込んだ。

—5月—

*5月10日（日本）、内閣府が2017年1～3月期のGDPの1次速報を発表、物価の変動の影響を除いた実質成長率が前期（2016年10～12月）より0.5%増加し、年率換算では2.2%。プラス成長は5四半期連続。

—6月—

*6月4日、世界銀行が年2回発行している世界経済見通しを発表し、日本の2017年の成長率見通しは1.5%で、前回1月の予想（0.9%）から上方修正した。世界全体では2.7%と前回予想を維持した。

*6月8日、欧州中央銀行（ECB）が理事会後に将来の金融政策の見通しに関する表現を変更し、当面の追加利下げの可能性を排除した声明文を発表した。

*6月8日、内閣府が2017年1～3月期のGDPの2次速報を発表し、物価変動を除いた実質で前期（2016年10～12月期）比0.3%になり、1次速報より0.2%下方修正した。

*6月13日、財務省と内閣府が4～6月期の法人企業景気予測調査結果を発表、大企業の景況判断指数はマイナス2.0となり、マイナスは1年ぶり。自動車などの製造業、非製造業ともの景況感が落ち込んだ。